

# 教育センターだより

## 夏季研修会を終えて

南砺市教育センター 所長 竹田 千春

今年元日に起こった能登半島地震。そして、復旧半ばに起こった9月21日からの豪雨災害。8月に訪ねた時も、輪島市や珠洲市にはまだ崩れたままの家や崖がたくさんありました。テレビ画面に映し出された豪雨被害の映像を見て、絶句しました。早く復旧が進むことを願うばかりです。

さて、今年度の夏季研修会では、ご自身の資質能力向上のためにいくつもの研修会を受講された先生がいらっしまったことを、大変うれしく思いました。私も研修会を通して、たくさんのことを学ばせていただきました。特に、授業力向上研修会やICT活用関連の研修会は今後の授業改善の点で大変参考になりました。

以前、ある授業の指導助言の先生に、「目指すところは、子供が考えることが好きであり、お互いの話を聞き合いつながっていくことで、新しいことが発見できることを先生と一緒に楽しんでいる授業である」と教えていただいたことがありました。私は、そのような授業ができるよう日々取り組んできましたが、残念ながらなかなかできるものではありませんでした。これは、まだタブレット端末がないときでしたが、『「個別最適な学び」と「協働的な学び」』とされている現在にもつながる教えだと思います。松本教育長がおっしゃる朝の会の話に代表される温かな学級経営が全ての土台です。そして、子供たちの思いや考えがより早く広がり、いろいろな人とつながっていく。その助けになる道具の一つが1人1台タブレット端末です。

研修会で心に残った言葉がたくさんありました。その中のいくつかを紹介します。

「職員室に行事黒板がまだありますか？」

「変わっていくことが前提でどんどん変えていかないと」

「先生が分かりやすく教えるのではなく、子どもがいかに学び取れるかにしていかななくてはいけない」

タブレット端末は不具合もよく起きますが、サクサクつながる次期端末が学校に届いたときに研修をスタートしては間に合いません。今やるべきことがたくさんあるように感じた夏季研修会でした。

今後も教育センターでは、みなさまの意見も参考に「学校現場や先生方のニーズに基づく研修」「日頃の教育活動に生かせる研修」を企画していきたいと考えています。

## ●NYT (南砺ヤングティーチャー) 道場

NYT道場は、南砺市内の保・小・中・義務教育学校に勤務されている1～6年目の先生方を対象としています。今年度は約60名が入会されました。5月2日(木)に行った開講式では、松本教育長から激励の言葉をいただきました。その後、レクリエーションやビーチバレー大会を行いました。声をかけ合ったり、ハイタッチをしたりと、徐々に打ち解け合い、校種を超えた若手の先生同士のつながりができました。

第2回は8月2日(金)に行いました。「先輩に学ぶ研修会」として、吉江中学校の森田康寛教諭を講師としてお招きしました。「生徒指導の機能を生かした授業づくり」と題して、これまでの授業で大切にしてきたことを温かい雰囲気の中で、教えていただきました。



## ●夏季研修会より

※ 各研修会の詳細や様子についてはHPでご覧ください。

### 市教育センター研修 ICT 活用研修会

- 日時 令和6年7月29日(月) 10:00~12:00
- 会場 オンライン研修(一部参集)
- 講師 一般社団法人 メディア教育研究室 代表理事 今度 珠美 先生
- 参加者 砺波地区小・中・義務教育学校教職員 23名
- 内容 「コンピュータ1人1台端末時代の  
善き使い手をめざす学び」  
・デジタル・シティズンシップ教育の重要性と指導法



#### <参加者の感想より>

- ・公共の場でのルールやマナーは、低学年から繰り返し指導していることである。それと同じようにデジタル・シティズンシップを捉え、指導していくことは、イメージしやすく、校内の先生方にも勧めやすいのではないかと思った。今後、責任のリングやオンラインで行動するときの3つのステップを、低学年から繰り返し指導していこうと思った。
- ・デジタル・シティズンシップについて、詳しくわかっていなかったので、様々な定義があることや情報に対する向き合い方を学ぶ重要性について学ぶことができた。また、生徒に求められる能力について、そもそも自分自身が身に付いているかを振り返る場になり、このテーマについて学ぶ必要性を感じた。2学期には、生徒が1人の市民として自分や他の人に対する影響を考えながら行動できるよう授業実践したい。

### 市教育センター研修 プログラミング学習研修会A・B

- 日時 A: 令和6年8月1日(木) 14:00~16:30  
B: 令和6年8月2日(金) 9:00~11:30
- 場所 A: 福野小学校 B: 福光中部小学校
- 講師 南砺市教育センター ITCE 林 秀次 先生
- 参加者 市内小・義務教育学校教職員  
A: 18名(5年算数担当) B: 10名(6年理科担当)
- 内容 教科や単元のねらいの達成とプログラミング的思考の育成  
A: 5年算数科「多角形と円をくわしく調べよう」  
・スクラッチ教材  
B: 6年理科「電気とわたしたちの暮らし」  
・マイクロビット教材



#### <参加者の感想より>

- ・多角形を作図する時に、スクラッチを用いて描くことでプログラミング的思考を養えると感じました。子供たちが触れる機会を多く設けたい。
- ・実際にマイクロビットを使って、プログラミングの魅力を学ぶことができた。自分が入力したことが上手くいっているかいないかが瞬時にフィードバックされ、成果がよくわかるし、どのような順序で命令を書けばよいかを考えることは、普段の生活における技能としても重要だと感じた。

## 市教育センター協業研修 授業力向上研修会

- 日 時 令和6年8月5日（月） 14:30～16:30
- 会 場 南砺市地域包括支援センター
- 講 師 京都教育大学 教職キャリア高度化センター  
講師 大久保 紀一郎 先生
- 参加者 砺波地区小・中・義務教育学校教職員 72名
- 内 容 「1人1台端末を活用した個別最適で協働的な授業づくり」
  - ・これから求められる学力とはどのようなものか
  - ・「個別最適」で「協働的」な授業づくりのために、どんな力を子供に付けていく必要があるか



### <参加者の感想より>

- ・単元のゴールと学習の流れを示し、子供たちに委ねるような授業を仕組むと、子供たちの多くは、端末等を活用し、友達と関わりながら意欲をもって学習を進めている。しかし、そこには、端末活用の約束や学習規律の徹底、学級内の人間関係、何より教師の深い教材研究等、土台になるものが非常に重要であり、課題となることもある。講師の大久保先生がおっしゃったように、年度当初にしっかりと土台を築いたうえで、子供たち自らが学習を調整しながら進められるような授業を仕組んでいくことが大切だと思った。
- ・生涯にわたって学び続ける学習者を育てていくために、私たち教師が授業観を転換し、教師自身も、自立した学習者を育てるといふ学校教育の大きな目標に向かっていく必要性を感じた。

## 市教育センター研修 南砺市教育講演会

- 期 間 令和6年8月9日（金） 14:00～16:30
- 場 所 井波総合文化センター
- 講 師 南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一 先生
- 参加者 市内小・中・義務教育学校全教職員
- 内 容 「がんばれ！学校応援団  
～『南砺令和の教育改革』とこれからの授業～」
  - ・南砺市が進めてきた教育改革の内容とその意味
  - ・個別最適な学びが生きる話し合い観のパラダイム変換



### <参加者の感想より>

- ・職員会議や終礼、新聞等でチーム担任制についてや、部活動の地域移行等の南砺市の教育変革についての話は聞くことはあるが、どういう経緯や意図や思いがあるのかを集中して聞く機会があまりなかったため、今回大変勉強になったし、自分だったら何を頑張ればいいのかを改めて考えることができた。
- ・南砺市の子供たちを取り巻く現状とこれからの南砺市が目指す方向性について再確認することができた。チーム担任制にしても教育課程の編成にしても、各校の創意工夫によってさまざまな可能性が考えられることから、それぞれの学校の実態に応じた柔軟な発想が求められるのだと思った。教育長の「よいと思ったことをやる。やってみてダメなら別の方法を考えればよい」という言葉を受け、今の自分の立場から提案できることを考えたい。
- ・朝の会では、聞き手がただ自分と繋げて考え、知りたいことを質問するのではなく、話し手が学級の友達に分かってもらいたいことを聞いてもらう場として、学級の関係づくりに2学期以降も努めていきたい。
- ・朝の会の話をもった際に、「人に共感してもらいたい」という子供の気持ちや、「学級の友達を分かちあいたい」という気持ちを大切にすることが重要だと改めて感じました。

## ●第20回南砺市小・中学生科学展覧会 開催



- 会場 井波総合文化センター
- 期間 令和6年9月14日（土）～15日（日）
- 出品数 小学校、義務教育学校前期課程 45点（低学年 12点、中学年 13点、高学年 20点）  
中学校、義務教育学校後期課程 18点 計 63点

子供たちが夏休み中に一生懸命取り組み、まとめた科学作品の中で、各学校から選出された63作品を井波総合文化センターに展示しました。数々のすばらしい作品の中から研究の独創性、追究意欲やその過程、記録、考察やまとめる力等を審査し、優秀賞10点、優良賞12点が選ばれました。15日の表彰式では、優秀賞に選ばれた児童生徒の皆さんに、松本教育長より賞状が渡されました。

2日間で約350の方が来場され、じっくりと作品に見入っていらっしゃいました。

優秀賞に選ばれた10点の内5点が、10月17日(木)～21日(月)に富山市科学博物館で行われる第83回富山県科学展覧会に出品されます。



< 表彰式の様子 >



< 作品展示の様子 >

### 各種委員会の取組についてお知らせ

#### 小学校理科資料委員会

- ・6年理科資料「大地のつくり」の改訂に向けて、現地に足を運び、写真資料の収集等を行いました。現在は、印刷に向けて校正を行っています。

#### 中学校社会科資料委員会

- ・「身近な地域の学習―歴史編―」の改訂に向けて、資料収集等を行いました。現在は、印刷に向けて校正を行っています。

#### 体力づくり委員会

- ・昨年度作成の、力を付けるための運動の実践を各学校で行っています。

#### ICT推進委員会

- ・「南砺市版情報活用能力の指標」の活用について実践を進めています。また、7月のICT活用研修を受講し、デジタル・シティズンシップについて理解を深めました。

### 今後の研修のお知らせ

#### 授業力向上研修会

若手の先生による公開授業と事後研修会を通して、子供の発言の捉え方や授業の見方について研修を深めます。若手の先生に限らず、多数の参加をお待ちしています。

#### 【日時・会場】

- ・10月23日(水) 城端小学校
- ・11月8日(金) 福野小学校
- ・12月11日(水) 吉江中学校

#### 【コーディネーター、指導助言者】

南砺市教育委員会  
教育長 松本 謙一 先生